



平成24年度総会・懇親会

7月14日(土) 甲山農村環境改善センターにて

来賓・同窓生、206名集う!

世羅高 同窓会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会
世羅郡世羅町本郷870番地



第15号発行によせて



同窓会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

同窓会員並びに地域の皆様方には、本会の運営に格別のご理解ご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。平成二十一年八月から「世羅高等学校同窓会改革検討委員会」を設置し同窓会の活性化に向け、数十回も検討会を開催頂き、その結果として、平成二十三年度の総会参加者は百七〇余名又平成二十四年度参加者は二百余名となり、改革の成果が現れてきている様に感じています。

この間、改革検討委員会をはじめ総会・懇親会の成功の為に大変なご努力を頂きました。当番幹事の皆様、そしてチケット販売などご協力下さった多くの

皆様に心から感謝とお礼を申し上げる次第でございます。平成二十五年度総会は改革三年目となりますが、今後の目標として、検討委員会で話題となりました各地区の支部組織の立ち上げ、活性化など、個人情報等との関係もあり困難な状況も発生すると思われませんが、同窓会がより強固で活発な会となる為に引き続き取り組みなければならぬ課題と考えております。

さて世羅高等学校は長い歴史の中で常に地域に見守られ育まれてきた学校であります。この度世羅町におかれましては「駅伝のまちせら」スポーツによるまちづくりへの挑戦！をかかげ、観光振興の一つの柱として、全国高校駅伝強豪校のトレイングコースを走ろうなど「走る」ことを観光に活用した取り組みを始められました。世羅と言えば、農産物の一大生産地であり、花観光・梨・ぶどう等の果樹観光は、つとに有名であります。また違った角度からの「まちづくり」に取り組まれる事は、世羅町の発展はもとより、なお一層地域と世羅高校の距離が縮まることになり、成功するよう応援したいと思っております。

今春、広島県教育委員会の人事異動により、藤井彰二校長先生が定年退職なさいました。藤井先生は「元氣・感動・笑顔」

のスローガンをかけ長年の教員生活の集大成として、限りない愛情を注いで頂きました。ケニア共和国からの留学生の受け入れにも、自らケニア共和国へ赴いていただきました。有難うございました。今後共々健勝で活躍下さいます事を祈念致しております。藤井校長先生の後任として、森嶋勝也新校長がご着任なさいました。森嶋先生は前任地広島県教育委員会においてスポーツ振興課長をつとめられ、広島県全体の高校スポーツ振興に携わってこられました。又県立東高等学校より瀬藤教頭先生もご着任なさいました。本校教育の一層の充実・発展にご努力して戴けるものと大いに期待しており、私達同窓会も全面的にご支援ご協力を申し上げる所存でございます。

同窓会報発行にあたり、会員の皆様及び地域の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



世羅高に赴任して



校長 森嶋 勝也

同窓会の皆様には、平素より本校教育の充実、発展のために、日頃より御支援・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。衷心より感謝申し上げます。

明治二十九年に千葉三郎氏により私塾甲西会として創設された本校は、旧制世羅中学校、甲山高等女学校を併せて、今年で百十七年目を迎える歴史と伝統を誇る学校であり、卒業生はおおよそ一万七千七百人を数え、多くの方々が国内外で活躍されています。

わたくしは、本年度の入学式において、新入生に対して次のように話しました。「歴史と伝統ある世羅高校に入学おめでとう。皆さんは厳しい試練を乗り越えて、この世羅高校を自ら選んで入学してくれました。長く続く本校の歴史を刻んでゆく一人としての誇りと自覚を持ち、頑張ってもらいたいと思っております。」生徒たちには、この言葉を忘れず、将来の夢に向かって頑張つて欲しいものと願っています。

また、本校職員には「生徒たちが、世羅高で学んでよかったです。自

分は世羅高校のあの先生に学んでよかったです。今の自分があるのは世羅高校のあの先生のお陰であると胸を張って、自信を持って言ってくれる生徒を育てよう。」と話しています。そして、教職員は生徒の力を伸ばそうと、授業はもちろん世羅塾と称する補習、あるいは部活動など献身的に教育に打ち込んでいます。本校職員は生徒が伸びることを大変な喜びとして取り組んでいます。

その結果、昨年度の三年生も就職希望者は一〇〇%就職することができ、進学希望者も国立医学系や有名私立大学に合格者を出しました。特筆すべきことは、本校の特徴である生活福祉科では六四%が進学し、その内八一%が本校で学んだ専門を生かした分野に進学し、また、就職した者の内七三%が専門を生かして就職していること、農業経営科は四二%の生徒が就職し、その半数が地元で就職していることです。

このように、専門学科をもつ本校は、長年にわたり、それぞれの専門性を身につけ、社会で有為な人材、地域を支える人材を輩出してきたことを改めて認識しました。

自然豊かな世羅台地に、百有余年の歴史を誇る本校が、先人の教育に対する情熱により、脈々とした流れを絶やすことなく今日に至っていることは、これからの世羅高等学校を担う教職員としてこ

のまない喜びとともに、また大きな責任を感じます。

今、本校は、「世羅三訓(挨拶励行・時間厳守・整理整頓)」を掲げ、生徒一人一人を伸ばそうと取り組んでいます。この「世羅三訓」を生徒一人一人が自分の生き方として身につけ、自律した自分を確立し、世羅高の生徒であることに誇りを持ってもらいたいものです。世羅高三年間で学んだ生徒は「凜」とした態度で社会に巣立って行くことを願っています。

平成二十四年度同窓会総会を振り返って



平成24年度当番幹事長 重田 善吉

世羅高校同窓会の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。この会報が先ず皆様のお手元に届けられますのは、今年度の同窓会総会・懇親会の開催当日(七月十三日)であろうと思えます。

一昨年から同窓会・総会の開催日が毎年七月第二土曜日に変更されていますが、その背景にはそれまでの同窓会総会の在り方を見直し、改革していこうという役員の方々の熱い検討・協議が相当期



間行われたと伺っております。

私は、改革二年次に当たりました昨年度、同窓会総会・懇親会の当番幹事長をお引き受けし、半年余りの準備会議等を重ねるなかで前年度当番幹事長の前卓治さん(昭和三四年卒)をはじめ幹事の皆さんと共に、より多くの同窓会に参加していただける総会・懇親会(つくりのための知恵を出し合いながら取り組みを進めることが出来ました。(当日参加者二百余名)事前告知(新聞折込広告など)による広報にも力を注ぎましたが、何といつても役員・幹事の皆さんによる人海戦術・ロコミでのチケット販売が参加者獲得の有力な手法であることに違いはありません。これが一番ではありませんが、役員の方々の皆さんや当番幹事の声かけから漏れる同窓生の皆さんがチ

トヨタ車のことなら 指定民間車検場 スズキサービス指定工場
アラニ・オート(株)
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977
TOCHU GROUP スズキ専門店
スズキオートSHOP
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

感性が光るアートな写真
残しておきたい思い出の写真
アート写真光房 阿部写真館
TEL:0847 22-0213
http://www.cameraman-abe.com/
Eメール: info@cameraman-abe.com

ケットを購入できる取扱所を設定するという提案は、グッドアイデアだったと思います。ご快諾くださったファミリーマート世羅店様のご協力に感謝しています。



今年度は、昨年度の成果と反省を踏まえ、長久幹事長(昭和三十六年卒)を中心に改革三年次に相応しい取り組みをしていただけてきました。同窓会総会・懇親会に向けて敷かれてきた三年間のレールを揺るぎない土台にしながら、今後さらに世羅高校同窓会が益々発展していくことを祈念するものです。



「同窓会改革」三年目を迎えて



同窓会副会長 瀬尾 圭三 (昭和36年卒)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も我が母校同窓会「総会・懇親会」を迎える時期となりました。これまでの改革の取り組み、経緯を簡単に振り返り、そしてこれからの取り組みについて課題等を取り上げ、同窓生の皆様に改革の流れを是非ご理解いただきたいと思います。

一 はじめに

平成二十一年から二十二年まで改革検討委員会を設置し、一年間かけて同窓会の改革について検討を重ねました。同窓会規約をはじめ抜本的に改正をいたしました。新しい規約のもと、先ず平成二十三年度総会・懇親会を「改革元年の同窓会」として位置付け、前卓幹事長(昭和三十四年卒)を中心に、改革の趣旨をしっかりと踏まえて取り組んでいただきました。結果参加者百七十名となり、改革元年に相応しい「総会・懇親会」が実現できました。

二 「同窓会改革」二年目の成果と課題
平成二十四年度同窓会「総会・

懇親会」は、重田善吉幹事長(昭和四十五年卒)さんを中心に、改革の趣旨及び平成二十三年度の取り組みをしっかりと踏まえ、特に参加していただいた同窓生の皆様に少しでも満足していただきたいの思いで、様々なアイデアを提供していただき、これ以上の取り組みは無いほどに画期的な内容となり、その努力が実り二〇〇名の卒業生に参加していただきました。二十三年・二十四年度の取り組みは、今後の取り組みの見本になると言っても過言ではありません。それほどに大きな成果となりました。

そして同窓生の皆さんの同窓会に対する理解が徐々に広がり始めたかなと思います。

三 「同窓会改革」三年目にあたり

今年度は、改革三年目の課題として「支部組織の再建・活性化」「母校への支援体制の確立」を目指し、第一期完成年度として位置付け、取り組んでいます。なかなか捗らず今年度総会へ朗報をお届けしたいとの思いも叶わず、痛恨の極みです。「支部組織の再建・活性化」は予想以上に困難なものがありません。想定している支部内に本部役員との人的交流が乏しいこと、想定される支部の組織には役員を担当していただける適任者の選任に相当な時間を要すること、肝心な本部自体が未だ発展途上にあるため、支部を牽引できる体制にはも

う少し時間を要すること、等々解決に向けて取り組まなければならないことが山積しています。また、「母校への支援体制の確立」については、財力・人材面において同窓会としての「力」が未だついていませんので、もう暫く時間を要します。

同窓会の在り方としては最低限の基盤は築けたと思いますが、まだまだ取り組まなければならぬ大きな課題があります。今年度から改革第二期として新たなスタートを切ります。第一期は所謂ハード面の改革が中心となりました。第二期は残された課題の取り組み、さらにソフト面の改革に重点を置きます。伝統校に相応しい同窓会にするためには関係分野の人事の刷新も重要な課題です。第二期改革が完了すれば改革は一段落します。何としても同窓会の盤石な体制を構築し、学校・PTA・同窓会の三者が一丸となつて母校を支援していかねければ、と決意を新たにしております。

四 今後の課題

同窓生の皆様の限りないご支援、ご協力をよろしく願います。すとも、皆様の健康、ご活躍を心から祈念いたします。



一般鋼材・ステンレス・アルミ各種加工

上野鉄工所

上野 悟(昭和52年卒)

〒722-1112
広島県世羅郡世羅町本郷36-3
TEL&FAX (0847) 22-1322

出光興産株式会社販売店

芸備燃料株式会社

代表取締役 坂東辰男

本社
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL0847-22-2121
世羅バイパスSS
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL0847-22-1151
世羅配送センター
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL0847-22-1136

委員会だより



一、総務委員会

委員長 瀬尾 圭三
(昭和36年卒)

総務委員会の任務は「年間計画作成、他の委員会への支援、当面する諸課題の解決策等の提案等、他の委員会に属さない事項は全て担い、全体調整」を行います。

平成二十四年度は諸般の事情で会議が満足に持てませんでした。が、今年度から同窓会改革「第二期」がスタートしますので、改革の中心となり、今年は役員の改選期ですので、人事の刷新も図り、関係者と一致協力し、同窓生の皆さんのご理解、ご協力がいただけたら委員会活動を行わなければならないと考えています。

二、財務委員会

委員長 近田谷 正治
(昭和42年卒)

財務委員会の主だった取り組みと課題については、次のとおりです。

①同窓会の活性化のために、同窓会館を会議等で積極的に活用することを考慮して、同窓会館の整備の一つとして、パソコン・プリンター等の購入配置をしています。

②同窓会会計事務については、

会計事務を高校サイドから同窓会サイドに移行しています。

③決算予算については、同窓会規約改正に伴い、予算決算の期間は、一年間の移行期間を経て、昨年度より、四月一日〜翌年度の三月三十一日で実施しています。

なお、卒業生の減少傾向に伴う同窓会活性化の対応が、課題となるところです。

三、広報委員会

委員長 大田 良晴
(昭和37年卒)

当委員会の業務は、同窓会及び学校の広報活動である。しかし、現在は「同窓会報」の発行が中心となっている。

従前は、年末の発行であったが、一昨年より「同窓会改革」の中で七月の総会前発行となり、慌ただしい編集作業となった。年度当初で、原稿集めや割り付け、印刷所との折衝に時間を費やし十分な編集作業が出来なかった。

今後は、原稿募集等工夫をし、新しい充実した紙面づくりに取り組んでいきたい。同窓生の皆様のご協力よろしくお願い致します。

四、事業委員会

委員長 阿部 玲子
(昭和29年卒)

「学校の食堂と自動販売機について」食堂はどんなメニューなのか、どの位利用されているのか、

私達も体験して、生徒の皆さんにインタビュする事にしました。

うどん・カレーうどん・カレーライス・カツカレー、その他パツク入りのやきそば・たこやき・とり揚げ・から揚げポテト・パンミミのラスク等、そしてパンも販売されていました。インタビュには、美味しい、満足していると明るい声が返って、毎日四十〜五十人は利用されているようです。

答えてもらった生徒の皆さん、そして食堂も、三ツ星マークで嬉しくなりました。

それから自動販売機に、ランニングウォーターを、置いていた。ただの様な関係機関へお願いして、少しでも生徒の皆さんに役立つように取り組んでいきたいと思っております。

五、母校振興委員会

委員長 波田 幸代
(昭和37年卒)

第一にクラブ活動の支援にとり組みます。本校の陸上競技部の育成発展のために、国際交流推進会議またPTAと協力して募金活動にとりくみます。特に在校生の空白地区の募金活動を推進します。

次に学校の行事「文化祭」「体育祭」また毎年二月に行われる「学びピア」などに参加し、学校と接する機会をふやします。

六、会員名簿委員会

委員長 玉浦 洋明
(昭和49年卒)

平成二十四年

九月 還暦同窓生案内の住所不明調査。

十月 県内支部立ち上げ用名簿資料出力。

平成二十五年

四月平成二〇年代までの卒業生台帳から、データ入力したものを名簿管理会社サラトへ渡し編集依頼。

五月 還暦同窓生への案内と名簿確認。

《課題》
住所不明者の調査の協力。

《活動》
同窓会を予定されるころへの住所データ(エクセル)提供のお知らせが、出来るようになりました。

同窓生の住所変更がリアルに出来るようになりました。同窓会へお知らせいただきましたら、名簿の変更を行います。

同窓会名簿非公開希望者につきましては、当委員会で購入したデータの公開は必ず本人了解としていきます。

メール・フェイスブックでの情報のつながり作りが、これからの活動の課題になると思っております。

手造りのおもてなし
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります

ファミリーレストラン

タイニー

世羅郡世羅町西上原483-3
TEL(0847)22-0322 FAX(0847)22-0405
http://www.fr-tiny.co.jp/

O・A 機器・事務用品・学用品
オフィス家具・教材教具・教科書

森田尚文館

森田 努 (S29年卒)

世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代)
FAX 22-3051

大きな成果! ニューヨーク姉妹校との国際交流

NPO世羅国際交流
教育ネットワーク

代表 瀬尾 圭三
(昭和36年卒)

世羅高校は、ニューヨーク州
ソントン・ドノバン校 (略称「T
D校」と姉妹提携を結んで三年
目を迎えています。地元有志の
方々をはじめ、地元在住あるいは
東京校友会の同窓生の方々が一
堂に集結しNPOを組織し、募金
を募り、両校の国際交流を支援し
ています。主な事業は、世羅高校
の生徒、TD校の生徒が毎年相互
に約二週間の短期留学、その支援
をします。双方とも滞在は全てホ
ストファミリーのお世話です。T
D校生徒の受入事業は、世羅高校
授業参加、町内三中学校と交流、
一部小学校との交流、広島平和公



園での平和学習、宮島研修、世羅
菜園、世羅幸水農園見学、大手門
和菓子づくり体験、等々を行いま
す。年度によって若干メニユーが
変わります。世羅高生徒の派遣事
業はTD校への短期留学、TD校
授業参加、TD校学校行事への参
加・TD校生徒との交流、ホスト
ファミリーとの交流、ニューヨー
ク市内名所視察研修等々盛り沢山
のメニユーがあります。

世羅高生徒を派遣する場合、留
学希望者に対して作文、面接によ
り選考します。選考試験では彼ら
をアメリカへ派遣して大丈夫、だろ
うかと一抹の不安が残りますが、
派遣が決定したら出発するまでの
約4か月間事前学習を行います。
担当の先生の指導により、生徒は
指導内容をしっかりと自分のもの
にし、努力し、実践しますので、
出発直前になると、見違えるよう
に自信に溢れたように雰囲気を変
わってきます。そして留学となり
ますが、留学する生徒は毎年多く
の成果が見られます。

二週間の留学を終えて帰国しま
す。帰国報告会に臨むと、生徒全
員一回り大きくなった姿に驚かさ
れます。成長しているのです。二
週間の短期留学により生徒は一層
自主的、積極的になり、クラス内
ではおとなしく、言葉も少なかつ
たのが発言が積極的になり、進路
意識が高揚するなど、大きな成果
となっています。さらに町内中学

校に影響が及び、中学生も昨年度
からハワイへ短期派遣されるよう
になりました。世羅町あげての国
際交流がNPOの最終目標です
が、徐々に進展しています。この
事業を推進、継続し支援していく
ためには資金が必要となります。
支援方法は会員又は賛助会員の立
場で、または一般の寄付といった
方法もあります。同窓生の皆様の
ご理解、ご協力をお願いいたします。



世羅高校国際交流 推進会議について

世羅高校国際交流推進会議
会長 小島 敏文
(昭和44年卒)

この会は、ケニア共和国をはじめ
めとする諸外国との国際交流活動
を通じて、教育及びスポーツ、社
会教育、文化活動等の相互交流を
推進し、世羅台地を中心とする地

域の活性化を目的に結成され、以
来十二年間、ケニア共和国からの
留学生の受け入れ、台湾「大同高
級中学」との交流を進めてきまし
た。おかげさまで会の活動も円滑
に進み、着実にその成果も現れて
います。

とりわけケニア人留学生の活躍
は目覚ましいものがあります。生活
態度はまじめで、陸上競技に対す
る情熱はすばらしいものがありま
す。日本人選手が受ける影響も大
きく彼らと練習を共にすること
で、競技力・人間性が向上してい
るものと思います。

昨年は、卒業生のビダン・カロ
キ君 (当時エスピー食品・現在D
D) がロンドンオリンピックの
一万メートルで五位に入賞する活
躍をしてくれました。



世羅台地の宝石 根域制限栽培ブドウ

Gem Grapes

ジェムグレープス

はな工房ばくにてお益以降販売

生産者 さなだ農園 眞田悦次
TEL 0847-22-1445

スーパーマーケット

日谷屋

門田プラザ店・御調店・大和店・パオ店

今年度は三名の留学生を受け入れてあります。彼らの日本での生活費はこの会の会費から捻出されています。同窓会の皆様方には、全国大会出場時の寄付等でもご支援いただいております。誠に恐縮ではありますが、この会の趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



学校だより

① 進路指導部

昨年度(平成二十四年度)卒業生の最終的な進路は、四年制大学六六名、短期大学六名、専門学校五四名、就職(公務員を含む)は三八名でした。広島大学をはじめとする国公立大学の合格者は二名でした。大学入試センター試験が難化したこともあり、厳しい結果となりました。難関私立大学は三名の合格者で、こちらも厳しい結果となりました。就職に関しては、昨今の厳しい状況の中にありながら、昨年度に続いて就職内定一〇〇%を達成することができました。

入学できるという状況が続いています。しかし、学費の安い国公立大学や私立でも有名な大学には志願者が集中しており、厳しい入試となつていきます。また、大学卒業者の就職に関しては、薄日が差し始めたとはいえ、やはり厳しい状況は変わっていません。どの進路を希望するにしても、目的意識をはっきりさせ、どのような将来を過ごしたいかというビジョンを持たなければいけない時代となつていきます。安易に進路先を決めてしまわず、少しでも高みを目指して努力し、その希望が実現できるような指導していきたいと考えています。

本校は昨年度に引き続いて、広島県教育委員会から「チャレンジハイスクール」の指定を受けました。チャレンジハイスクール事業では、県内指定校の教員とともに大学入試センター試験に向けた共通教材を作成するなど教科指導力を向上させるとともに、生徒の進路意識の向上に向け、大学の研究室訪問、企業訪問、そして他校生徒との合同学習合宿などを実施していく予定です。

また、今年も放課後や長期休業中の補習・世羅塾などを通して学力向上に努めるとともに、面接指導などを繰り返し、就職に向けた指導も行っていきます。進路指導部をはじめ、全教職員で生徒の進路実現に向け努力してまいります。

② 農業経営科

農業経営科の学科目標は、農業経営に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、チャレンジ精神や地域の農業や社会に貢献できる実践的な能力や態度を育てることです。一年生で農業の基礎的科目を学習し、二年生から「六次産業類型」と「地域営農類型」に分かれて専門的な学習を深めていきます。「六次産業類型」では、商品開発や食品製造など、「地域営農類型」では、植物バイオテクノロジーや農業機械など、それぞれの専門的な科目を学びます。新設された食品製造棟や環境制御温室・農業実習室を活用しながら地域に貢献する将来のスペシャリストの育成を目指しています。また、農業経営科の三大プロジェクト研究として、スペースシャトルで宇宙に打ち上げられた大豆の比較栽培実験や、世羅町との共同研究で生ゴミの堆肥化に取り組んだり、世羅町の農作物を練りこんだケーキの商品開発に取り組んでいます。

農業経営科への学科改変から四年が経ち、この春、四三名の農業経営科の卒業生を送り出しました。十二名の生徒が世羅町近隣企業に就職し、四名の生徒が県立農業技術高等学校に進学しました。将来、彼らが世羅町の担い手となり地域の産業を支え地域を守り活性化してくれることを信じて教育活動を続けたいと思っています。



平成24年 ひろしまフードフェスタでの販売

③ 生活福祉科

生活福祉科では、生活産業のスペシャリストとして社会に貢献できる人材の育成をすすめています。衣・食・住など生活を基盤にした学習を行い、生活に関する知識や技術をもとにファッション、栄養や調理、保育や福祉について学習します。また、高度な資格取得をめざし、介護福祉士国家試験受験資格(受験には九か月の実務経験が必要)の養成や介護職員初任者研修、ビジネス文書検定・情報処理検定・サービスマスター検定・秘書検定・家庭科技術検定などに取り組んでいます。さらに、校外実習、地域交流、ボランティア活動をを行い、働くことの大切さや喜

itc 警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)
人材派遣事業部(般34-300074)

じつとく
株式会社 實徳コーポレーション

〒729-3302 広島県世羅郡世羅町川尻1288-1
TEL (0847) 25-5271 FAX (0847) 25-5272
(0847) 22-0500

進物の玉浦
☎0847-22-1107
FAX.0847-22-1567

〒722-1121
世羅郡世羅町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休

④第63回全国高校駅伝報告
 昨年十二月に行われた、第六十三回全国高等学校駅伝競走大会では、高校駅伝創生期の第1回・第2回大会以来の連覇を目指して臨



びを学び、高齢者や子どもとの触れ合いなど、校内では学べない貴重な体験活動を通して、地域の福祉に貢献できる人材の育成にも取り組んでいます。
 夏休みには、1年生が三日間のインターンシップ(就業体験実習)、福祉類型の2年生は五日間、3年生は十日間の介護実習、生活経営類型は五日間の保育実習を地域の事業所や施設で実施させていただきました。毎年、同窓会や地域の皆様には大変お世話になっております。
 今年度もご支援とご協力をよろしくお願い致します。



みましたが、残念ながら2時間5分53秒で第五位という結果に終わりました。
 大会を振り返ってみると、1区では序盤からうまくレースの流れにのることができず、区間17位と出遅れてしまい、2区は区間7位で少し順位を上げ、3区は区間2位で走り2位にまで順位を押し上げる事ができました。しかし、4区に棒が渡った時点で先頭とは1分以上の差がついてしまいました。4区から追い上げていかなければならないところでしたが区間24位とまったく振るわず、逆に大きく差を広げられ5位に後退してしまいました。5区・6区・7区も自分の力を十分に発揮できたとは言えず、若干の順位の変動はあったものの6位・7位とほとんど差のない5位で、何とか8位入賞を守ったというレースでした。
 大会終了時からこの結果を真摯に受け止め、もう一度、日々の練習に取り組み姿勢や生活態度を見直し、六十三回大会の雪辱を果たすためにも努力しているところです。今年も有望な一年生が多く入部

してきていますので、上級生ともども今後さらに精進を重ね、日々の練習や生活をより充実したものにして、十二月の都大路を目指していきたいと思えます。

同窓生のみならずがたには、今後とも絶大なご支援をいただきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。



東京校友会

会長 十河 研一 (昭和36年卒)

東京校友会の主な活動は、年二回の会報発行、親睦会及び十一月の総会となっております。
 今年に入って、先ず一月には、品川区の「荏原七福神めぐり」を行い、平安と幸福を祈りました。
 三月末には、古くから桜の名所として知られる「上野恩賜公園」において観桜会を催し、桜吹雪の舞う中で歴史と文化にも触れる有意義な一日となりました。
 会報「とうきょう世羅」は、四月七日に第三十六号を全会員に宛てて発送し、現在次号を十月六日の発行に向けて鋭意編成中です。
 今年の総会は、十一月十七日(日)正午から、東海大学校友会



館(霞が関ビル)において、小島同窓会長、森嶋校長など多くの来賓をお迎えして開催する予定です。
 陸上競技部への応援賛助金では、毎年多くの会員から浄財が寄せられ、母校に贈呈しておりますが、今年も引き続き募集しており、十二月には西京極陸上競技場で応援できることを楽しみにしております。
 母校の繁栄のためには、駅伝をはじめ国際交流や地元密着の教育等特徴ある学校として支援するために、まず会員にインターネットを通じた参加の呼び掛けやホームページ開設等を行い、東京校友会の体制強化を図るとともに、東京における世羅物産のPR企画への協力等の活動を行っております。

いつでも電話でお気軽に
 総合建設業

(有)坂上建設

TEL 23-0231(代)
 FAX 23-0232
 夜間 23-0511

世羅町宇津戸3453-1

もみの木畳店

世羅郡世羅町小世良380

TEL (0847) 22-1426
 FAX 0847-22-1893
<http://www.mominoki-tatami.com>

近畿同窓会

会長 松尾 千九三 (昭和25年卒)

- 平成二十四年 四月十五日 広島県・関西同窓協議会総会に参加 (大阪弥生会館)
- 四月二十九日 役員開催
- (新年度総会等事業として) 打合せ
- 五月二十日 広島県人総会(多摩川ふれあい)に参加(ホテル 大阪メトロ)
- 六月十日 世羅高近畿同窓会総会開催(大東産甲山農村環境改善センター)
- 七月十四日 母校同窓会開催
- 八月三日 全国高等学校野球選手権出場の大広島工業高校の歓迎激励会に参加(新大阪駅業高校(回戦)の応援に参加甲子園)
- 九月十五日 広島県・関西同窓協議会幹事会に参加(大阪弥生会館)
- 十一月四日 母校選手全国高校駅伝大会広島県予選会に出場(男子・女子揃って優勝)(三次市)
- 十一月二十五日 役員会開催
- (駅伝全国大会出場カンパ依頼 封入作業等)
- 十一月二十八日 広島県・関西同窓協議会(日旅行開催(京都・東山散策))
- 十二月二日 広島県・関西同窓協議会幹事会に参加(終了後、「忘年会・懇親会」に参加(大阪弥生会館))
- 十二月二十一日 母校より藤井校長・小山陸上部部長が来阪(企業他 挨拶)
- 十二月二十三日 母校全国高校駅伝大会に出場(男子五位・女子三十三位)(西京極陸上競技場)
- 平成二十五年 一月二十七日 広島県・関西同窓協議会新春懇親会に参加(大阪弥生会館)
- 二月十六日 広島県・関西同窓協

議会議事会に参加(大阪弥生会館)
三月十四日 広島県・関西同窓協議会一日旅行開催(奈良・斑鳩散策)
三月十八日 選抜高等学校野球大会出場の広島高校の歓迎激励会に参加(新大阪駅)
三月二十六日 選抜高等学校野球大会広島高校(回戦)の応援に参加(甲子園)



三月二十八日 広島県・関西同窓協議会副会長 内田信氏の告別式参列(霞屋川)
三月三十一日 役員会開催(新年度総会等としての打合せ)

呉支部

支部長 大原 重徳 (昭和33年卒)

吳点描(その三)

中央棧橋展望室から、呉市の北側を望む。
右手に目をやれば、市民から堺

川と呼ばれ親しまれている一本の川がある。昔は水も汚れていたが、市民の努力の結果、今は水も澄み魚影も時には見られる。

川の一歩手前、即ち南側に橋が架かっていて、ここから東に進めば音戸の瀬戸に至る。川に沿って更に北に目を転ずれば、今度は錆鉄の鉄橋が架かっている。呉線であり、ここから二百mほど西に呉駅がある。

目を左(西)に向けよう。すぐ眼下に二つの建物が目につき、右側のビルには大和ミュージアム駐車場の看板が見える。左にはスパーの赤い看板が目立つ。この辺りは、最近始まった駅裏開発の結果、ホテル、マンション、レジャー施設など高いビルが立ち、少し前まで見えていた、呉線や呉駅の駅舎などが見えなくなった。

視線を上げれば市街の背後に山が見える。

灰ヶ峰(七三七m)と呼ばれ、夜景の名所である。冬、滅多に雪の降らない呉だが、年に数回頂きに冬の冠を見せ、市民を驚かせる。東西を堺川と西を流れる二河川に挟まれ、南北灰ヶ峰と呉線に挟まれる地域に、市役所や官公庁などが集まり、ビジネス街となっている。唯一のデパートは昨年末に閉店となった。やはり世間と同様冷たい風が呉にも吹いているようである。

同期会だより

同期生は生涯の友



西村 宣子 (昭和37年卒)

私たち普通科、昭和三十七年卒業生は、八年前の平成十七年四月、門原一土さんの尽力で、広島県三原市で、卒業以来四十二年ぶりの第一回同窓会を開催した。以後二年おきに、関西、広島、地元と持ち廻り、この四月には、再び三原で古希祝いを兼ねて第5回同窓会を開催した。出席者は、一三七人中三十七人だった。

私たち同期生も、実家や郷里を懐かしんだり、恋しく思う年齢になった。

こんな心境の時、半世紀前、ふるさとで親のすねをかじりながら、何も考えず、のんきに共に学んだ同期生に再会する。

社会のしがらみや見栄を頭からスッポリと剥がされ、五十年前の高校生に瞬時に引き戻される。

「同期生はええもんじやのう。ひとつも気が使わんでええで」と連発しながら子ども心に戻り、和やかな時間を過ごし、気楽に楽しむ。この共通意識が何とも言えず心地よく、同窓会の良さなのである。

私たちは、転動して来られた生方から「世羅高は素直な生徒ばかりです」と褒められたのを皆覚えているだろう。時が経ち、環境が違っても、あの純朴さは少しも変わっていない。

現代は人間関係が希薄だと言われるが、私は、同期生に強い絆さえ感じる。

雄大な世羅台地に生まれ、地元の方々に育んで頂き、伝統ある世羅高校で学んだ証だと思ふ。

同期生とは、腹を割って本音を言い合える無二の友であり、生涯の友である。

原稿募集

同期会クラス会、OB会グループの集いなど又近況報告、趣味や学生時代の思い出など、広報委員会へどしどしお寄せ下さい。(写真四百字〜五百字位お待ちしております)

編集後記

暑威益盛の候、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
会報第十五号がなんとか発行できました。

今回の編集に際して、寄稿くださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

今後の会報編集に、皆様のご意見、ご感想をお寄せ下さい。新しい紙面づくりに協力をお願い致します。

(広報委員会)